

令和7年度 南小学校教職員 働き方改革アクションプラン

～自分たちで幸せな学校をつくる～

南小学校では、「北上市教職員働き方改革プラン（R7～9年度版）」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。

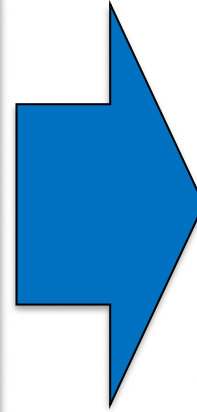
1 現 状

【定量的現状】

- ◆ 「北上市教職員働き方改革プラン（R4～6年度版）」目標達成状況について
「時間外在校等時間が月80時間以上のものを前年度比3割減とする。」
・R5年度の3割減：目標0人、実績：R6年度0人
「時間外在校等時間が月100時間以上の者をゼロにする。」
・R4年度：1人、R5年度：2人、R6年度：0人

【定性的現状】

- 教職員の意識
 - ・定時退勤の取組はかなり定着してきている。期末事務等の際は徹底されない。
 - ・時間外在校時間の縮減は、持ち帰り仕事の増加につながっている。
- 管理職のマネジメント
 - ・物的環境の整備及び整理整頓による作業効率の向上に務めている。
 - ・担任業務の負担軽減支援により、主任層及び担任外の負担が増加している。



2 目標・目指す姿

【R7年度目標】

- 北上市教職員働き方改革プラン（R7～9年度版）」に掲げるR7年度の目標を達成します。
- 本校に勤務する職員は、自身の時間マネジメント能力を向上させます。

【目指す姿】

- ・子どもたちへの質の高い教育を持続的に提供する観点から、限られた時間を最大限に有効活用し、効果的で充実した教育活動の実現が図られている。
- ・業務改善について、教職員から積極的に提案がなされている。
- ・働き方改革に係る課題について、学校全体で共有し、その解決を図る場が定期的に設定されている。
- ・教職員が、自己啓発や家庭の時間を十分に確保できている。
- ・教職員が、いきいきとやりがいをもって子どもたちに向き合うことができている。

3 （2を達成していくための）具体的取組内容

○ 教職員の健康管理

- ・働き方改革プランの勤務時間の適正管理の取組を確実に実施し、教職員の健康を確保します。
- ・効率的な職場環境の在り方について検討・改善します。
- ・時間外在校等時間が80時間超となった教職員に対して、当該時間を知らせるとともに、健康確保の観点から、勤務時間への意識改革に向けた面談をします。
- ・健康相談事業等、職員の状況に応じ、共済保健事業についての活用を促進します。

○ 学校における業務改善の推進

- ・ICT等の活用や物的環境の整備を実施することにより、業務の効率化を進めます。
- ・職員の意識改革を目的に、週に1度定時退勤の取組をします。
- ・定期的に、学校における働き方の取組状況を振り返る場を設定します。（安全衛生委員会等）
- ・会議・研修は目的を明らかにし、簡潔な提案、充実した協議を図るとともに時間の短縮を図ります。
- ・学校からの通知等については紙での配付の廃止及び、マチコミ機能での配付・周知を推進します。

○ 学校及び教員が担う業務の明確化・適正化の推進

- ・校舎内外の環境整備業務について、PTAや地域の理解・協力を得て対応します。
- ・教職員参加の地域行事等について、学校の実情を踏まえて精選等を行います。
- ・働き方改革に向けた取組について、保護者の方に理解いただけるよう説明・周知に務めます。

令和7年4月1日 南小学校長 石川 晃

（参考）「北上市教職員働き方改革プラン（R4～6年度版）」（抜粋）

【策定趣旨】

- 働き方改革の実現により、未来を担う大切な子どもたちに、質の高い教育の持続的提供につなげる。

【プランの目標】市内小中学校の教員の時間外在校等時間の縮減

（1）時間外在校等時間が月100時間以上の者をゼロにする。

- ・令和4年度実績（6月調査） 7人 割合 1.2%
- ・令和5年度実績（6月調査） 9人 割合 1.6%
- ・令和6年度実施（6月調査） 10人 割合 1.8%

（2）時間外在校等時間が月80時間以上の者を段階的に縮減し、令和6年度末までにゼロにする。

- ・令和4年度実績（6月調査） 45人 割合 8.0%
- ・令和5年度実績（6月調査） 42人 割合 7.7%
- ・令和6年度実施（6月調査） 27人 割合 5.0%